

| | | | |
|------|-----------------|----|---------------|
| 項目番号 | 2 | 項目 | 「見通しと振り返り」の重視 |
| 学校名 | 本庄市立共和小学校 | | |
| タイトル | 児童の気づきを生かすノート指導 | | |

見通しをもつ場面：【児童ノート】

問題文から分かることや気づき（今までの違い・答えの見積もり・どんな計算で求められるか・手だて等）を一人一人が考える時間をつくり、記録させる。それを学級にも広め、見通しをもって活動できるようにした。

板書
ふき出しで

ジュースが①の入れものに $\frac{1}{2}$ ℓ
②の入れものに $\frac{1}{3}$ ℓ はっています。
あわせると何ℓですか。

たし算
①+②
 $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$

答えはℓより少ない
($\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{2}$ で、 $\frac{1}{3}$ は $\frac{1}{2}$ より少ない)

① ジュースが、①の入れものに $\frac{1}{2}$ ℓ、②の入れものに $\frac{1}{3}$ ℓ はっています。あわせると何ℓですか。

たし算になるが、分母がちがうので、そのままたし算できない。
式は $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$

分母がちがうたし算のしかたを考えよう。
通分をすれば分母がそろえられる。
図をかいてみる。

<方法1> 通分
 $\frac{1}{2} \rightarrow \frac{3}{6}$ $\frac{1}{3} \rightarrow \frac{2}{6}$
 $\frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6}$ A. $\frac{5}{6}$ ℓ

まず、通分をして2つの分数を同じ分母にそろえる。そしたらたし算できるので、たし算をして答えは $\frac{5}{6}$ ℓ

<授業の流れに沿った児童ノート>

① 問題

② 課題

③ 自力解決

分数のひき算 見出し

① 問題
ジュースが、①の入れものに $\frac{3}{4}$ ℓ、②の入れものに $\frac{2}{3}$ ℓ はっています。あわせると何ℓですか。

ひき算を使う。(①-②)
答えはℓより少なくなる

式 $\frac{3}{4} - \frac{2}{3}$

② 課題
分母のちがう分数のひき算のしかたを考えよう。
・通分してから計算
・図をかいてみる。

③ 自力解決
通分
 $\frac{3}{4} \Rightarrow \frac{9}{12}$ $\frac{2}{3} \Rightarrow \frac{8}{12}$ 最初に $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ を通分して $\frac{9}{12}$ と $\frac{8}{12}$ にしたらひき算が簡単。答えは $\frac{1}{12}$ ℓ になる。

A. $\frac{1}{12}$ ℓ

④ まとめ・振り返り

分母のちがう分数のひき算は、通分を使って計算する。

答えが約分できるときは約分しておきます。

練習
 $\frac{2}{3} - \frac{3}{5} = \frac{10}{15} - \frac{9}{15} = \frac{1}{15}$
 $\frac{5}{6} - \frac{1}{10} = \frac{25}{30} - \frac{3}{30} = \frac{22}{30} = \frac{11}{15}$

まとめる場面
本時の課題に対するまとめを、児童が自分の言葉でノートに書き、発表し合う。
教師は児童の言葉を生かしながら本時のまとめをする。

【成果】 経験を積み重ねることにより、問題提示後いろいろなことを見つけられ、ノートに書き出せるようになった。答えの見積もり等を出すことで、計算の間違いに自ら気づき修正する児童の姿も見られた。また、論理的に思考する力や表現する力も身に付いてきた。